

令和 5 年 11 月 15 日

三田市長 田村 克也 様

三田市精神障害者家族
会長

精神障害者の福祉施策に関する要望書

貴職ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素は当会の活動にご理解を頂き厚くお礼申し上げます。

さて、にじの会は当会が所属する公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会と協力しながら、地域啓発活動や精神障害への理解促進事業、家族のための相談業務など様々な活動をしています。一方、精神障害者を取り巻く福祉施策については、問題が多く残り、特に三田市においては近隣各市と比べても遅れているところも多々あります。ここに、にじの会としての要望書を提出します。ご多忙中とは思いますが、12 月中に文書にてご回答下さいませようお願い申し上げます。

記

【他障害との同等の支援を】

1. 2021 年 6 月 11 日国土交通大臣指示通知により、『精神障害者に JR の割引の導入促進』が明確に記載されていますが、未だに実現に至っていません。JR 西日本および、神姫バス対しても割引が導入されるよう働きかけてください。
2. 重度障害者医療費助成の対象を精神 1 級のみから 2 級、3 級に拡大してください。精神障害者の収入は、例えば、通所型の就労継続支援 B 型事業所での平均月収約 1.6 万円と非常に少ないため、最低限の健康的な生活レベルの確保のために必須の助成です。近隣では奈良県、愛知県等は県全体で対象範囲が拡大されています。兵庫県内でも、2 級、3 級に拡大している市町が 11 市 1 町に増加しています。精神科入院費用の助成も一部の市町村で進められていますが、三田市としても助成制度の拡大を進めてください。
3. 自動車税や自動車取得税について、精神障害者 1 級には減税処置がありますが、2 級、3 級にはありません。2 項で述べたように、生活レベルは、1、2、3 級とも同じであり、経済的に必須の状況となっています。是非、2 級、3 級に拡大してください。

【精神障害についての教育、啓発の促進】

1. 令和 4 年度から高等学校の保健体育で「精神疾患の予防と回復」の教育が始まっています。更に中学、小学校にも進めてください。この教育に関し、学校での教育や児童生徒および教職員の方々への支援、研修などの機会において、精神疾患・精神障害当事者や家族の病の体験や主体的な対処、回復の過程などの経験と意見を伝え、交流する機会を是非検討して下さい。学校にて「こころの不調」を訴える人が出てきた時に、生徒、家庭、教職員のみならず、地域の関係機関の専門職と繋がるような取組支援を進めて下さい。

【精神障害者就労の促進】

5. 平成 30 年度の厚生労働省職業安定局データによると、精神障害者の就労率は、発達障害者を含めても、5.7%と身体障害者の 10%、知的障害者の 17.5%から比較しても極端に低くなっています。最近の障害者雇用率も未達です。精神障害者の経済的安定を目指し、就労促進に向けた取組が進められるように、企業などに働きかけてください。
6. 企業での精神障害者差別や不当解雇防止のために、実地調査、企業内研修を推進してください。

【医療・年金に関する要望】

7. 自立支援医療費の自己負担無料化、軽減に向けご検討ください。

以上